

ケアプラン立案過程の概要		
(A) 項目	(B) 改善前	(C) 改善後
1 当該ケアプラン立案過程で、 専門職としてこだわった点		
2 アセスメント過程で、特に着 目した点		
3① (対象者が自宅生活) 対象者が自宅生活を継続でき るために意識した立案ポイント		
3② (対象者が自宅ではない在 宅生活→有料・サ高住等) 対象者が自宅へ戻るために意 識した立案ポイント		
4 アセスメント過程でとらえた 対象者の残存機能・能力		
5 ケアプラン立案過程で活用 を検討したインフォーマル・サー ビスまたは介護保険外サービス		

個別援助計画(該当するサービス提供機関の援助計画の サービス内容)の推移		
(D) サービス提供機関の個別 援助計画該当部分サービ ス内容 (以前)	(E) サービス事業者への 具体的指示事項 (改善後)	(F) サービス提供機関の個 別援助計画該当部分 サービス内容 (以後)
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒

《介護支援専門員氏名》

》

《所属事業所》

》

ケアプラン立案過程の概要		
(A) 項目	(B) 改善前	(C) 改善後
6 対象者の維持・改善のためにサービス提供者に依頼したこと		
7 当該ケアプラン作成過程で、本人や家族の同意が得られず、位置づけられていない計画		
8 カンファレンス等で他専門職と合意形成が得られず、位置づけられていない計画		
9 対象者の維持・改善を目指す上で、専門職として困っていること(アドバイスをほしいこと)		

個別援助計画(該当するサービス提供機関の援助計画のサービス内容)の推移		
(D) サービス提供機関の個別援助計画該当部分サービス内容 (以前)	(E) サービス事業者への具体的指示事項 (改善後)	(F) サービス提供機関の個別援助計画該当部分サービス内容 (以後)
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒
	⇒	⇒

《記載手順》

- ① 「ケアプラン立案過程の概要」の (B) 欄へ、会議前に提出した内容をそのまま転記
- ② 「ケアプラン立案過程の概要」の (C) 欄へ、会議で改善が必要とされた内容を記載 (該当がなければ空欄)
- ③ 「個別援助計画の推移」の (D) 欄へ、サービス提供機関におけるサービス内容を項目ごとに記載 (該当がなければ空欄)
- ④ 「個別援助計画の推移」の (E) 欄へ、会議で改善が必要とされた内容を記載 (該当がなければ空欄)
- ⑤ 「個別援助計画の推移」の (F) 欄へ、ケアプラン変更後の内容を記載 (該当がなければ空欄)